

三重県スポーツ少年団では、各市町スポーツ少年団や各役員から紹介された「地域で活発に特色ある活動をしている単位団」を訪問し、その活動の様子を皆様にお伝えしていこうと思います。

また、情報誌 SportJapan(夢、輝け！クラブ探訪！)で紹介する単位団として積極的に推薦していこうと考えています。

まず初回は、伊勢市で活動している JAC EAST(浜郷スポーツ少年団)を紹介します。訪問した日は、雨天で運動場が使えない状況でしたが、元気に楽しく体育館で活動している様子を見せていただき、指導者の出口 真弘さんからお話を伺いました。



出口 真弘さん

JAC EAST (浜郷スポーツ少年団)

○ 設立について教えてください。

2016年、当時、他種目のスポーツ少年団やスポーツクラブはありましたが、陸上競技関係のものはなく、現代表者の龍田 洋さんから「陸上競技のコーチが3人いるので専門的に陸上競技のスポーツ少年団をやってみないか」と話を持ちかけられ団を立ち上げました。



○ 今の活動状況について教えてください。

毎週日曜日に活動をしています。

現在の団員は72名。7月に小学校低学年の募集をかけるのでもう少しは増えると思います。昨年度は90名を超えていました。浜郷小学校以外の子どもたちも受け入れて活動しています。

活動場所としては、主に浜郷小学校の運動場(体育館)で行なっていますが、県営競技場や近くのグラウンドでも練習を行っています。



指導者としては、スポーツ少年団の指導者資格を持つものが4名。その他コーチとして20名近くが子どもたちの指導にあたっています。コーチの中には、近隣の大学生も数名入ってもらっています。コーチの中には、週1回の活動ですが、指導者が多いこともあり、学年に応じた指導を効率よく行えています。

また、専門的な指導も受けられる環境が整いつつあり、やはり指導者の数が多いということは、安全面においても保護者が安心して子どもを預けられることにつながっていると思います。

○ 団の特徴を教えてください。

活動状況でも述べましたが、指導者が多い点だと思います。指導者がいることで、学年毎にグループを分けての指導が可能となり週一回の活動ではありますが、効率よく質を高めての活動が実現できています。また、若い世代の指導者が多い事もあり子どもたちと一緒に楽しみながら活動しています。

「Let,s enjoy! 」がモットーです。



○ 活動について工夫されていることを教えてください

指導の基本として、ガツガツした練習を行うのではなく、楽しく一緒に遊ぶ感覚で指導をしています。

他の種目にも通じる陸上競技の走・跳・投の基本的なことを指導していて、団を出てから他の競技に進む子どももいます。

中学生も学校の部活動にも加入しながら何人か所属しています。中学生は、小さい子どもたちと遊びの中で触れ合うことや別メニューの活動を行うことで普段のストレス解消になっていると思います。



また、伊勢市スポーツ少年団などが主催する活動に積極的に参加したり、地域主催のジョギング大会に子どもたちが家族とともに参加したり、浜郷まちづくり協議会の「いきいき健康教室」などに参加することで、地域を大切に思う心が育ってくれればと思っています。

昨年は、コロナ禍の状況で様々な事業が中止になる中、団独自で家族観戦の記録会も行いました。

○ 団の将来に向けて考えていることを教えてください

このコロナ禍で、家に閉じこもらずに、まずは運動習慣を身につけさせることが大切と思っています。そして何よりも運動の楽しさを感じることを大切にしていきたい。楽しさを感じさせるためには、成功体験を積み重ねていかせたいと思っています。

また、この団で陸上競技を通して楽しく活動することを学び、若い人材がそのことを地域の活動に活かしてほしいと思っています。

今はまだその年代はいませんが、今後、この団を出て伊勢に居住する者には、OBとして指導者やコーチとなり、団の将来的な継続を担ってほしいと思っています。

